



**MORIOKA**  
ROTARY CLUB WEEKLY

第12回例会(10月4日)  
令和元年10月11日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10 会 長 西島光茂  
川徳デパート内 幹 事 勝 雅行  
例 会 場 同上 TEL 019 (651) 1111(代) 会 報 金沢 滋  
例 会 日 毎週金曜日12時30分～ クラブ事務局 TEL 019 (653) 5682  
http://www.morioka-rc.jp/ FAX 019 (653) 5622

RI会長テーマ ROTARY CONNECTS THE WORLD:ロータリーは世界をつなぐ...マーク・ダニエル・マローニー  
盛岡RC会長テーマ 令和元年:世の為、人の為、奉仕を続け、輪を繋げましょう-西島光茂



新入会員卓話

## テレビ岩手の50年と記念事業

梶野 信治 君

### (テレビ岩手開局50年)

テレビ岩手は今年12月1日に開局50周年を迎えます。それを目指して、昨年から様々な記念事業を展開していますが、今日はそれらの内容を説明させていただくとともに、テレビ岩手に対する皆様のご理解をさらに深めていただきたいと思います。

さて、テレビ岩手が開局したのは昭和44年、西暦で言えば1969年12月1日です。この年は社会的にも様々な出来事がありました。1月に学生運動最大の事件ともいべき東大安田講堂の攻防があり、7月にはアポロ11号による人類初の月面着陸が行われ、映画「男はつらいよ」の第一作が8月に公開されました。そのほか、テレビではTBS系の「8時だよ全員集合」の放送が始まり、夏の甲子園では三沢高校と松山商業の決勝戦再試合などもありました。相良直美の「いいじゃないの幸せならば」がレコード大賞をとり、「あっと驚くタメゴロー」が流行語になったりしました。ずいぶん昔のことですが、私は中学3年生から高校1年生のころで、これらの出来事は、今も鮮明に覚えています。

そんな年に産声を上げたのがわがテレビ岩手で、その年の1月に会社を設立した際の局名は「盛岡テレビ」だったそうです。ただ、これだと地域的に偏り、全県的な広がりがないということで、放送開始時には今のテレビ岩手になったというこ

とです。

当時、すでにIBC岩手放送さんが1959年からテレビ放送を開始しており、10年遅れのスタートとなりました。しかも、テレビ岩手は新方式のUHFを採用しており、コンバーターという変換機を買わないとテレビが見られないということで、まずコンバーターを県民の皆さんに買ってもらうことが最大の仕事だったとのことでした。

この時、テレビ岩手は、日本テレビとNET、現在のテレビ朝日の2つのキー局の資本が入った、いわゆるクロスネット局で、それぞれの局の番組をほぼ平等に放送していました。1971年7月に全日空機と自衛隊機が衝突して墜落した雫石航空機事故では、両キー局から取材陣が押し寄せ、それぞれへの対応でテレビ岩手報道部ははてなでこ舞いだったということを聞いています。その後、両キー局の主導権争いが激しくなり、結局日本テレビが押し切った形となり、テレビ岩手は日テレ系列ということで現在に至っています。

開局時、社屋は市内の茶畑にありましたが、不便ということで、1983年には現在の内丸に新社屋を建設し、移転してきたわけです。この土地は「秀清閣多賀」というかつての名門料亭があった場所で、庭園を残したり、名物の松の木を岩手公園に移植したりするなどの配慮をした結果、移転にこぎつけたということです。

**(開局50周年事業)**

## 1) 2本の映画製作

それで、話は一気に現在に飛びます。テレビ岩手の開局50周年記念事業ですが、まず2本の映画の制作を挙げたいと思います。同じ映像ながら、いったん放送されてしまうと忘れられがちなテレビ番組と違い、映画は時代や国境を越えて生き残る可能性が高いので、そうした作品を世に残したい、と考えたわけです。

その映画の一つは、ドキュメントの「山懐に抱かれて」です。すでに県内各地で上映されましたので、ご覧になった方も多いと思います。

見ていない方のために改めて説明しますと、この作品は、テレビ岩手が24年間にわたって断続的に取材し放送して来た映像を、再編集して映画化したものです。映画の主人公、県北部・田野畑村の山奥で、「山地酪農」という独特の手法で酪農を営む吉塚さん一家です。千葉県から移住してきた夫婦とその後に生まれた7人の子供たちが織り成す喜怒哀楽の物語で、ガンコ親父と成長した孝行息子が、経営路線を巡って涙ながらに激論するシーンなどがあり、見ているこちらがハラハラするような場面の連続です。

日本テレビ系列では、日曜日深夜に「NNNDドキュメント」という番組があって、系列各局が競って番組を提供するなど、ドキュメンタリーの制作に熱心な地方テレビ局が数多くあります。それらの系列局で、これまで3つの局がドキュメントの映画化を実現しています。わたくしも何とかテレビ岩手でできないかと思い、候補を搜したところこの作品に行き当たり、担当ディレクターに映画化を指示したわけです。そうしたところ、このディレクターは最初、しり込みしていたのですが、50周年事業の目玉にするから、予算に糸目はつけない、と言ったところ、がぜんやる気を見せ、積極的に動き出したという経緯があります。

この作品、おかげ様で、社会的に高い評価を受け、映画の元となったテレビ版は、今年の文部科学省文化庁の芸術祭ドキュメンタリー賞を岩手県のテレビ局として初めて受賞し、今年のNHK放送文化基金賞の奨励賞も受賞しました。現在、国

内各地で上映が続いており、観客動員は目標とする2万人を突破しました。当初は2～3年かけて実現すればいいという動員目標でしたが、わずか3か月弱での達成で、いい方に予想が裏切られました。現在では2万4000人を超えています。この作品は、国内の各映画祭でも招待上映されており、いずれ何らかの賞を受賞するのではないかと、密かに期待しています。

もう一本は「影裏」という映画で、これについては昨年、プロデューサーの五十嵐さんが当クラブの卓話でお話したということなので、繰り返しませんが、少しだけ追加でお話しさせていただきます。監督は、盛岡出身で、映画「るろうに剣心」や「三月のライオン」などで知られる大友啓史さんがメガホンを取りました。先日東京で開かれた完成試写会で、大友監督は「これまで自分が作った作品の中で一番好きだ」と断言したほどです。私も試写を見ましたが、ハリウッド製のアクションや国内のアニメなど、国内外ともわかりやすい内容の映画が多い中、ちょっと謎が多くてミステリー仕立ての内容になっています。今はやりのLGBTも絡んできて、要はシックで大人向けといえます。釣りシーンなど岩手の自然の映像がきれいで、綾野剛や松田龍平といったキャストも極めて魅力的であり、岩手県民にはたまらない作品といえましょう。もちろん岩手県民だけに受けるわけではないでしょう。大友監督の友人が「昔のフランス映画みたい」と評したということですが、私も同感で、世界各国でも評判をとれる作品だと感じました。大友監督は、国内外の映画祭にエントリーする意向で、我々としても、今からその成り行きをドキドキして待つつもりです。正式にエントリーされたら、みんなでタキシードを着て授賞式に行こうと、冗談で話しているところです。

とにかく、原作者は岩手在住で初めて芥川賞をとった沼田さん。監督の大友さんも盛岡一高から慶応大学の出身。ロケ地はオール岩手で、文字通り岩手満載の映画です。来年2月14日のバレンタインデーに、岩手を含む全国で公開されます。ぜひご覧になってください。感激すること間違いなしです。

## 2) 「ジブリの大博覧会」

この2つの映画製作以外には、今年11月30日から県立美術館で始まる「ジブリの大博覧会」が目玉です。「となりのトトロ」や「風の中のナウシカ」などで国民的な人気があるスタジオジブリのすべてがわかる展覧会です。今年の春に福岡市で開かれていたこの展覧会を視察しましたが、空に浮かぶ木造船や地を這う怪物など、映画のキャラクターなどがそのまま展示され、ジブリファンにとってはたまらない内容といえます。何しろ、観客動員目標が2か月半の開催期間で20万人という、岩手県始まって以来の規模ですから、われわれもどのような展開になるのか、はっきり見通せない点があります。

このジブリ展は、岩手での開催で国内最後ということですから、全国からファンが押し寄せる可能性が高いです。われわれとしても今年度の成果をかけて全力投球する覚悟です。

## 3) 盛岡市シティマラソンへの応援

また、10月27日に開催される盛岡市初のフルマラソン、「盛岡シティマラソン」もテレビ岩手が強く関与するイベントとあっていいでしょう。メディアパートナーとして大会の様態を中継するほか、事務局にも社員を送り込み、盛岡市当局などと協力してランナーの募集、おもてなしの企画といった作業にも取り組んでいます。

### (テレビ岩手の現状)

最後に、テレビ岩手の現状について、若干触れさせてください。テレビ局の実力を測る物差しに視聴率というものがあります。いわば人気のバロメーターです。この視聴率には、1日中という意味での「全日」、多くの人々がテレビを見る夜の「プライム」、最もいい時間帯である「ゴールデン」という3つの時間帯ごとに算出されるのですが、この3部門でトップになることを視聴率3冠王といいます。テレビ岩手は、岩手県内で2010年以来、9年連続で年間3冠王を獲得し続けています。今年も毎月のように月間3冠王を続けており、年間での3冠王は間違いのない状況で、つまり10年連続で年間3冠王ということになりそうです。IBCさん、NHKさん、すみません。先発のこの2

局に対し、後発組のテレビ岩手は追いつけ追い越せと必死でやってきて、開局50年の年にそれが実現できるのは夢のようなことです。これも県民の皆さんのおかげです。

### (テレビ業界全体の現状)

もう一点だけ、テレビ業界全体についての報告をさせていただきます。最近、何が話題になっているかということ、民放の経営を支えてきたコマーシャルが、以前に比べて急速に集まりにくくなってきた、ということです。ご存じのように、民放は、企業などからお金をいただいてCMを放送して経営を成り立たせてきました。もちろん、先ほど言ったスタジオジブリ展覧会のように、事業を開催して入場料で稼ぐという手法もありますが、それは民放の収入のごく一部です。テレビ岩手の売り上げでいえば、平均で全体の5～6%程度です。9割以上はCMの収入、業界用語で放送収入といいますが、その放送収入が頭打ちになり、右肩下がりになろうとしています。

最大の理由として挙げられるのが、インターネット広告の台頭です。パソコンやスマホの普及で、ホームページへの広告が見られるようになり、企業の広告がどんどんネットに流れているわけです。広告媒体としては、これまでテレビ、新聞、雑誌、ラジオが4媒体といわれていましたが、10数年前に本格的に登場したインターネットが、まずラジオを抜き、やがて雑誌、新聞をも抜いて、ついに今年、テレビの総広告売り上げを抜くとされています。民放にとっては極めて厳しい状況です。こうした事態を受け、テレビ業界の監督官庁である総務省は「地方テレビ局の再編は不可避」として、対応を迫る動きを見せています。もちろん、そう簡単に再編など起きないとは思いますが、いずれ岩手県でも何らかの動きが表面化することもあるかもしれません。テレビ岩手としては、そのような流れに動ぜず、自主経営路線を守っていこうと固く誓っています。皆様の一層のご支援をお願いして、わたくしの卓話とさせていただきます。

東京支部だより

みんな元気です。 ～東京支部暑気払い～

東京は酷暑の夏も終わりを告げ、朝夕はやや秋の気配を感じるようになった。  
恒例の名店巡り暑気払いを8月26日、表参道の「南国酒家」で開催、15人が参加した。  
南国酒家は創業60年近くの人気店で岩手県も含め全国から新鮮な食材をベースにした広東料理が評判のお店。  
南部さんの乾杯に続き、今回初参加の東京海上日動火災の杓掛さんの挨拶を皮切りに近況報告があった。  
南部さんの市長選、知事選こぼれ話や石井さんの大船渡高校の163キロ右腕、佐々木君の話からスポーツ界の裏



話、荻野さんの‘品のある’都々逸など楽しい時間が過ぎた。  
幹事役の小出さんから高校時代の同級生6人で2泊3日の550キロ「岩手縦断の旅」報告から参加者全員が年に数回は岩手に通っている事が判明。  
‘半端ない’いわて愛と盛岡ロータリークラブの縁からの楽しいネットワークを改めて実感した一日だった。  
(文責 小西 隆昭)

例会報告

第12回例会  
令和元年10月4日(金)

12時30分 開会点鐘

- ・司会 西島光茂会長
- ・国歌 君が代
- ・ロータリーソング (奉仕の理想)
- ・会長報告 西島光茂会長
- ・入会祝 村井研一郎・眞下卓也・佐藤年男君
- ・誕生祝 榎野信治・佐々木憲明・岡村 弥君
- ・結婚祝 川村 登・吉田幸一・駒木進・長谷川久晃・中村芳樹君
- ・幹事報告 勝 雅行幹事  
終了後定例理事会開催
- ・委員会報告

[ニコニコBOX]

◆大久保嘉二君…NHKの経営や放

送について、視聴者のみなさまから直接意見をうかがう「視聴者のみなさまと語る会」が11月9日(土)盛岡放送局で開かれることになり、参加者を募集しています。NHKから経営委員3人と副会長、理事が出席します。

「チコちゃんに叱られる！」のプロデューサーが制作の舞台裏を明かす講演会も開かれます。  
どうぞご参加ください。

◆石田 亨君…

(1) 9月21日(土)からの岩手医科大学附属病院の矢巾移転にともない、病院の関係者数百名が新たに通勤で東北線をご利用になる見込み、との話があり、平日は盛岡7時4分発日詰行、土休日は7時40分発の日詰行を増発しました。

附属病院移転の前後で比較すると、当初の想定よりは少ないですが、朝の時間帯では平日で200名程度、東北線上り列車のご利用が増えています。

気になるので、時間がある時は朝、盛岡駅の6番線ホームに行って様子を見ています。

(2) 11月1日(金)から盛岡駅新幹線ホームの発車メロディーが替わります。

盛岡駅の発案で、朝のNHK連続テレビドラマ「どんと晴れ」の主題歌だった、小田和正さんの「ダイジョウブ」になります。

10月19日(土)の「盛岡駅まつり」の中で、新しい発車メロディーのお披露目をやります。お時間のある方は是非、10月19日(土)の10時に、盛岡駅前の滝の広場にお越しください。

ちなみに、大震災後の2012年の春、「いわてディスティネーションキャンペーン」の期間中に、盛岡駅在来線の発車メロディーを私の独断で「わんこきょうだいのうた」にしたことがあったのですが、このときは全然話題になりませんでした。

出席報告 会員数/74名 | 出席数/42名 | 出席率/60.00% | 前々回/休会



プログラムのお知らせ

- ・10月11日(金) 新入会員卓話 星 伸寿会員「学校教育の動向とICT活用」
- 17日(木) 秋の懇親会 (18日例会変更)
- 25日(金) 第2回クラブアッセンブリー
- ・11月1日(金) 特別休会②
- 8日(金) 新入会員卓話 赤沢文彦会員
- 15日(金) 卓話

●本号編集担当/福田 荘介